



## SSH 生徒研究中間発表会を実施しました

9月28日(火)の午後、本校体育館にてSSH 生徒研究中間発表会を実施し、1年次生がこれまでに取り組んできた探究活動の現状報告や今後の活動計画について、ポスターセッションによる形式で発表しました。全58班をA・Bの2つのグループに分け、各グループで3回の発表時間を設定し、8分間の発表+4分間の質疑応答を行いました。また、2年次生も5時間目に5・7A・7B組、6時間目に4・6組が参加し、発表の聴講や質疑応答を行いました。



初めはぎこちなかった発表も、繰り返すたびに良い発表になっていきました。また、2年次生・1年次生とも、積極的に質疑応答をしている様子も見られました。

今回の発表で、どの班も多くの刺激を受けた一方、「まだまだ取り組みが甘かったな」と感じた生徒も多かったと思います。

例えば、アドバイスシートには、自分たちが見落としていたことや自分たちでは思いつかないようなことが、意見として書かれていたのではないのでしょうか？ また、他の班のポスターを見て、「こういう見せ方をすれば分かりやすいのか」、「グラフや表があったらよかった」など、勉強になったことと思います。

1月の課題研究発表会に向け、今回の反省を生かして頑張りましょう！



生徒による開会宣言



講評いただいた蛸名名誉教授(中央)、竹村教授(右)

## ～ 生徒の感想（一部抜粋）～

- 発表の際、予想外の方向から質問を切り込まれて少し焦ってしまいましたが、その分考えを深めることができ良かったです。他の班の発表や実験のやり方にも参考にしたいものがたくさんありました。
- 質問をされてあまり答えられなかった点は、まだ考えが深められていないところだと分かりました。また、他の人の発表を聞いているときに質問をしようと思ったけれど、なかなか手を挙げる事が出来なかったので、次の発表会では自分の意見も伝えようと思います。
- 人の前で発表したり、他の班の発表を聞いたりすることで、自分たちの足らなかつたところや、できたところに気がつけました。また、自分たちが調べていることについてもっと詳しく知らなければいけないと感じました。質問にきちんと返答をすることができなかつたり、他の班の発表に質問できなかつたりして、終わってから後悔したので、本発表では今回以上に完璧に準備をしていきたいです。
- 誰かに向かって何かを発表することはとても難しいことだと感じました。他のグループの発表では、参加型にしているところがあり次の発表の時に取り入れていきたいと思いました。また、蛭名名誉教授が仰っていたように質問する力がどれほど大切なのかも実感できました。本発表では理解をさらに深められるような質疑応答をしたいと思います。
- 発表の時間は8分間あったが、6分弱で終わってしまったので、練習が足りないなと思った。また、ポスターに表や写真などを載せていない点や、実験方法が曖昧な点など、改善点も見つかった。たくさんの質問をいただき、自分たちでは考えられていなかった部分があったので、そこを改善して、本発表には完璧な発表ができるよう頑張ろうと思った。
- 質疑応答の時に、曖昧な答えをしてしまったことが心残りです。しかし、答えられる問いには自信を持ってしっかりと答えることが出来ました。沢山の方が見て下さり、アドバイスも頂いたので、この機会を無駄にせず、次に活かしていきたいです。

